

各方面からの反響の紹介

戸田への共感、共鳴多し。中にはトンチンカンな意見や戸田への誹謗中傷も

茨木市議の山下けいきさん

市民派にも人望の厚い新社会党のベテラン市議。連帯ユニオン議員ネット会員

戸田さんの主張はよくわかります。私にしたらず自称市民派には地についた活動を愚直にやるという考えはない
どころか、それを小馬鹿にするような雰囲気を感じる事がよくあります。もちろん全部ではありませんが・・・。

世間の人はみんな楽をして日々生活をしているわけではなく、生活の糧を得るために同じことの繰り返しに近い
日常です。私たち議員が大切にしなければならないのは、そのように生きている市民に感謝し、その人たちが少し
でも人間らしく生きられるよう手助けをしたいという気持ちです。

日々の地道な活動を軽視して、何か効果的なうまい手がないかを考え始めると、権力の手先になっているマスコ
ミの受け狙いに走ってしまいます。

それに味を占めると、だんだん自分はほかの人間とは違うという優越感のとりこになり、ますます市民の日常の
営為から遠ざかっていく・・・。市民派の墮落です。

- 1) 種々の政治論議を公開的に行なって政治方針、組織方針等を決め、きちんとした総括を重ねていく能力。
(説明責任と論議能力)
- 2) 権力弾圧と右翼暴力を怖れずに闘い、運動と民衆を守る決意と能力。(権力弾圧や右翼と闘う気概と能力)
- 3) 一定以上の財政力と人員投入能力。(財政基盤)

は、その通りです。

同時に既成政党と違うのはいいとしても、それとどのように連携していくのか、力を合わせていくのかが、今回
全く見えません。

裏では協力を求め、一方では既成政党を批判する。ダブルスタンダード的な傾向が見えました。

自分たちだけでやれると考えるのは思い上がりで、謙虚さを持って既成団体とも付き合うべきです。

とりあえず、簡単な感想です。

君が代処分と闘っている当事者ほか市民活動家から

◎長文の「みどりの党」批判、読ませてもらいました。ドイツの「みどりの党」的なものが日本でもできるのかと
期待的幻想を持った時もありましたが、この前の戸田さんの講演、そして、このメールの長文で、「みどりの党」を
やっている人達の考えなど、よく分かりました。

「民衆勢力が新たに国政進出をするためには、その運動体の「質」が既存政党よりレベルの高いものでなけれ
ば意味が無いのは、言うまでもない。

では、どういう「質」が不可欠なのかと言えば、私は次の3つが必要だろうと思う。

- 1) 種々の政治論議を公開的に行なって政治方針、組織方針等を決め、きちんとした総括を重ねていく能力。
(説明責任と論議能力)
- 2) 権力弾圧と右翼暴力を怖れずに闘い、運動と民衆を守る決意と能力。(権力弾圧や右翼と闘う気概と能力)
- 3) 一定以上の財政力と人員投入能力。(財政基盤)

上記に全く同感です。

そして、戸田さんの書いておられる3つの必要と、その質をもった国政進出→国会議員を一刻も早く生みだした
いと思いました。(大阪府内のAさん)

~~~~~

◎大いに参考になりました！拡散中です。(大阪府内のBさん)

◎今回のメール非常に参考になりました。ありがとうございました。私は専業農家ですので、現在「反 TPP」を中  
心に動いております。(東北地方のCさん)

◎「緑の党」への真正面からの批判報告に何度もうなづきました。全く同じ思いです。

昨年の総選挙では「緑」型の複雑奇妙な選挙に手助けをしましたが、「緑の党」は所詮選挙の為だけの無党派地方  
議員たちの「就活」政党にすぎないということが分かりました。

政治闘争も、ましてや階級的闘いも、全く無縁な、共同利害維持の自己防衛的な仲良し身内グループでした。

彼女・彼ら達には、おっしゃる通り「在特会」もオスプレイも釜ヶ崎も弾圧逮捕もありませんでした。

(中略) いつか川田と同じ道を歩むでしょう。(関西のDさん)

## 「阿修羅掲示板」のコメント欄では（抜粋）

◎01. 2013 年 7 月 18 日 23:06:07 : 3PJAgRzx3M

なるほどね。

議員報酬とはいわゆる純粋な「賃金」だけではなく、政治活動費も含まれるのですね。

改めて考えてみれば当たり前ですが、なかなか議員経験がないと気づきませんね。

◎04. 2013 年 7 月 18 日 23:26:55 : Rkm6umMf3o

何でもいけど、左翼の近いところから倒す癖は、もうやめた方がいい。みっともない。

◎05. 2013 年 7 月 19 日 00:52:26 : p2L6tA9ZRM

戸田さん、今、自民党空前の圧勝という情勢の中で、泡沫政党を叩いている時間と労力がもったいないと思います。選挙終わってから、小政党を叩けばよいと思います。

◎08. 2013 年 7 月 19 日 09:36:33 : Fmk9F1s00s

こういう投稿は、小政党の内実がよくわかって面白いね。緑の党の三宅洋平は、結構話題になっているが、どうも当選は無理のようだな。で爺

◎09. 2013 年 7 月 20 日 02:47:57 : fyUy8JXyrQ

三宅洋平と其の仲間の山本太郎とは全然違う印象だけれども、戸田さんのこの記述は其の理解に役立ちました。

闘う山本と戦うのではなく対話したいとする三宅の差か。ボンヤリと分かりました。

闘わない共産党が山本、小澤などを第一に叩くのも分かりました。

闘う山本を共産・権力側がこの後どう叩くか、注視ヲ要する。

## 「マル共連BBS」での反響（1）

[5398] 戸田ひさよし氏の緑の党批判

Name: 無名氏

Date: 07/24 07:36

（説明責任と論議能力）において全くダメであり、公開的論議を嫌がり、説明責任を果たさないで良しとする「市民派ムラ政治」の集団でしかない。

権力弾圧や右翼と闘う気概と能力）という要素においては、「緑の党」活動家達のダメさ加減は非常にはっきりしている。

「国政選挙を闘えるだけの政基盤」という点でも、「緑の党」はお話にならない。

当たっている点が多いと思います。興味のある人は直接原文にあたってください。

<http://www.asyura2.com/13/senkyo151/msg/143.html>

[5402] Re[2]: 戸田ひさよし氏の緑の党批判

Name: まっぺん

Date: 07/24 11:13

私は戸田さんと同じく今は「革命21」に所属する身ではありますが、戸田さんの「緑の党」批判には無批判に同意はできません。

緑の党の各々の幹部が何をしたとか、説明責任を果たしていないとかいった問題なら、緑の党だけじゃありません。そういった問題は多くの政党にたくさんあります。

党を評価したり批判するには、そうした個別の党員の姿勢とか党の体質ではなく、党が持つ将来的可能性からまず見てゆくべきなんじゃないだろうか、と思うんですね。

もし将来的可能性のある党なら、それらの欠点についての批判は別の角度からなされるべきでしょう。

現在の日本資本主義の根本的問題である格差・貧困問題、弱者切り捨て＝非正規、生活保護、医療、年金、介護などの問題、そして派生する様々な問題＝安保・沖縄問題、環境・エネルギー問題などに対してどのような「総合的な解決策」を見出してゆくのか。それが「綱領」であり、政策であり、「党」を規定する問題であると思います。

戸田さんは、第一にその点について緑の党を批判するべきではないのか。私はそう思っています。

私はその点から見て、日本における緑の党の役割はあまり評価できないと思っています。

### ※ ↑ への戸田反論：

- 1) 戸田がそもそも「民衆勢力が新たに国政進出をするためには、その運動体の「質」が既存政党よりレベルの高いものでなければ意味が無いのは、言うまでもない。」という前提で話をしているのに、「そういった問題は多くの政党にたくさんあります。」っていうのでは、「まっとうな議論」になりませんが・・・。
- 2) 「その党がどういう事を言っているか」よりも、「その党の主要幹部がどういう事をしてきた人間達なのか」をしっかりとって判断する事（しっかりとらせて判断してもらう事）がはるかに重要でしょうよ。

# 「マル共連BBS」での反響（２）

Re: 戸田ひさよし氏の緑の党批判    Name: T    Date: 07/24 08:58

戸田が砂川と虹と緑の 500 人リストを離脱した経緯ってあったなあ。

緑の党でも、直接民主主義を標榜しながら、実態は裏政治で決まってるようなところは確かに見受けられますので、ある程度は当たってるとおもいますが、在特会ら排外主義右翼と闘ってるのは自分だけと言うのは相変わらず戸田的ですねえ。

党员や支援活動家の一部はフツーにレイシストと街頭でガシガシやってますがな。

しかし戸田の場合は「暴行されたー。メガネ壊されたー」と国家権力公安警察に泣きついてます。

一般に街頭で衝突したり、襲撃を受けても「おまわりさーん」などと被害届出して公安権力と慣れ合う活動家なんていません（キツパリ！）

メガネ程度で、お巡りさんに言いつけることで打撃を加えるなどという発想は、かつての日共－民青でもあまりなかったんじゃないのかなあ。さすがは公安調査庁スパイ宮崎学の忠実なる子分ですな。権力と仲がいいこと♪

反左翼で、統制大好き・警察と仲良きのしばき隊（反原連一派含む）と仲良くなれるんじゃないでしょか。

ようするに戸田は議員しか見てないんです。一般党员や活動家なんて頭の片隅にもないのでしょう。

議員が闘ってない党は党でない。党员や支持活動家は三下扱い。なんて尊大なんだろう。相変わらずだな。

しかも戸田のターゲットが女性議員に偏ってるのも妙ですねえ。ファロクラシーが根源にあるのかなあ。

「フェミが日本を占領しようとしている」という反動派妄想みたーい。

というわけで、公調スパイの子分が批判（避難 or 誹謗中傷？）するのなら、少し期待してみようかな（笑。でも、緑の党の運営委の松谷清も、スパイ事件発覚してんの宮崎を市議選に呼んでるくらいだからどっちもダメかもー。「緑の党は宮崎学とつむ松谷を認めるのか!？」って聞きたいけど答えられないだろうなあ。

~~~~~

↑↑↑

※ 戸田からの反論と指摘：

1：出てきたね。戸田への嫉妬の嫌悪感情で「団結」している「左翼もどき」腐敗分子！

こいつらはネットで戸田への好意的評価が出てくるとシャシャリ出ずにはいられない性分らしい。ましてや「自分らの生息地」と考えている「マル共連帯BBS」に「（戸田意見は）当たっていると思います」との投稿があれば。

2：相変わらず、言っている事はデタラメ・歪曲だらけ！

戸田は「議員でザイトクと体を張って闘ってきたのは戸田だけ」という真実を言っているだけなのに、「在特会ら排外主義右翼と闘ってるのは自分だけ、と戸田は言っている」として、戸田が言ってもいない事を基にして戸田を叩く「週間新潮手法」バリバリ！「戸田は議員しか見ていない」という非難も同じ捏造手法だ。

「変質した女性議員達への戸田の正当な批判」についても、全くトンチンカンな揶揄をして悦に入っている有様

3：自分はさもさもザイトクらと戦闘的に闘っているかのようなポーズを取っているが、この「T」という男、どこでどんな風に闘ってきたのか、全く語らず。

自分は匿名で隠れながら、「議員という公職にあって・実名も顔も晒して・ザイトクの襲撃と権力弾圧の双方を受けても断固闘い続け・門真市行政に反ザイトク施策を取らせるという全国唯一の成果も挙げている」戸田に文句を付けるというのだから、呆れ返る。「T」よ、お前自身の活動を語ってからモノを言え！

4：「戸田が権力に告訴した」事を教条的に「反権力の流儀に反する」と騒いで戸田攻撃の切り札みたいにする馬鹿。

戸田は告訴するに当たって十分な検討をした上で、やむを得ざる戦術かつザイトク暴力を有効に封じる戦術として告訴を実行し、それが自分自身にとってのみならず反ザイトクの運動とザイトク暴力に悩む多くの人々の利益になっている。

「全国初の、一個人による、HPでも大々的に公表した、ザイトクへの断固たる起訴」の重さと有効性を考えてみる頭もないのが、この「T」だ。

戸田に文句を付けるなら、お前が実名も顔も晒して、ネットでも現場でもザイトクと闘ってから文句を言え！

◆しかしまあ、こういうデタラメな戸田誹謗の投稿がされても何ら諫める事も問題指摘する事もなく、このすぐ後に淡々と「自分は戸田さんの意見には無批判に同意はできません」と投稿していくだけの「まっぺん同志」もいかなものか？

「市民派ムラ政治」ならぬ「共産趣味者ムラ政治」かい？ 何か「シガラミ」があるのなら打破すべきだね。

★今後は「同志に対する誹謗中傷に対しては、自分からも断固批判する」作風を確立していきたいものだ。